

令和6年度事業計画について
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

1 事業推進方針

令和6年度は、公益財団法人として、県民の総合的な健康づくりをより一層積極的に推進し、県民の疾病予防、健康の保持・増進に寄与する。

このため、健（検）診・検査事業における精度管理の徹底、県や市町村と連携した健（検）診受診率向上への取組み、豊富な健診情報を元にした調査分析活動への積極的な取組み、より効果の高い啓発活動の展開等を推進する。

2 各事業概要

(1) 健（検）診・検査事業

① 地域保健

広く県民の受診機会の拡大が図られるよう、県、市町村及び各地区の医療機関と連携を図りながら、各種健（検）診・検査を実施する。

主な健（検）診・検査

(単位：件)

項目	6年度 計画数(A)	5年度 実績見込数(B)	増減 A-B	4年度 実施数
特定健康診査	20,400	19,930	470	20,047
特定保健指導	260	300	△ 40	326
胸部×線検査(結核検診を含む)	55,000	57,625	△ 2,625	57,867
がん検診	86,200	87,324	△ 1,124	86,383
胃がん検診	12,000	10,984	1,016	10,997
肺がん検診	30,000	30,587	△ 587	30,908
肺がんCT検診	11,500	11,563	△ 63	11,564
大腸がん検診	13,500	13,293	207	13,271
子宮頸がん検診	8,300	8,887	△ 587	7,697
乳がん検診	4,400	5,561	△ 1,161	5,494
前立腺がん検診	6,500	6,449	51	6,452
胃がんリスク検査	1,500	1,896	△ 396	1,897
腹部超音波検診	880	1,152	△ 272	904
骨粗鬆症検診	1,300	1,461	△ 161	1,287
合計	165,540	169,688	△ 4,148	168,711

② 職域保健

職場での健康診断と併せて、その事後措置としての保健指導や運動指導等を実施することにより、勤労者の健康増進に取り組む。

主な健（検）診・検査

(単位；件)

項 目	6年度 計画数(A)	5年度 実績見込数(B)	増減 A-B	4年度 実施数
特定健康診査	860	989	△ 129	867
特定保健指導	940	760	180	729
胸部X線検査(結核検診を含む)	61,000	60,675	325	62,733
一般健康診断(協会けんぽを含む)	62,940	60,365	2,575	62,317
特殊健康診断	5,000	4,895	105	5,149
指導勧奨による健康診断	1,650	1,871	△ 221	1,746
がん検診	38,970	33,978	4,992	34,533
胃がん検診	14,000	10,959	3,041	11,037
肺がん検診	470	469	1	476
肺がんCT検診	2,000	2,141	△ 141	2,152
大腸がん検診	15,000	13,391	1,609	13,475
子宮頸がん検診	3,000	2,732	268	3,118
乳がん検診	2,100	1,930	170	1,904
前立腺がん検診	2,400	2,356	44	2,371
腹部超音波検診	1,950	1,575	375	1,842
骨粗鬆症検診	700	473	227	710
合 計	174,010	165,581	8,429	170,626

- ・一般健康診断(雇入時・定期・特定業務従事者)
- ・特殊健康診断(じん肺・石綿・有機溶剤・鉛・特定化学物質・電離放射線等)
- ・指導勧奨による特殊健康診断(VDT作業・振動業務等)

③ 学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査、心臓検診に加え、結核健康診断、小児生活習慣病予防健診などの各種健（検）診・検査を実施し、児童、生徒の健全な育成、疾病の早期発見や予防に資する。

(単位；件)

項 目	6年度 計画数(A)	5年度 実績見込数(B)	増減 A-B	4年度 実施数
結核健康診断	10,000	10,129	△ 129	10,106
寄生虫卵検査	3,000	3,943	△ 943	3,943
尿検査(腎臓病、糖尿病検査)	94,500	99,093	△ 4,593	99,004
心臓検診	8,500	7,670	830	7,670
学校貧血検査	18,000	18,544	△ 544	18,544
小児生活習慣病予防健診	2,800	2,971	△ 171	2,791
合 計	136,800	142,350	△ 5,550	142,058

④ 母子保健

新生児マススクリーニング検査において、新生児の先天性代謝異常や内分泌異常の早期発見・早期治療の一層の充実を図る。

令和2年度より、検査対象疾患を拡大し、重症複合型免疫不全症とライソゾーム病の検査を有料事業（個人負担を要する検査）として開始している。

また、令和5年度から脊髄性筋萎縮症を新たに有料事業の対象疾患に加える。

（単位；件）

項 目		6年度 計画数(A)	5年度 実績見込数(B)	増減 A-B	4年度 実施数
先天性代謝異常等検査		7,700	8,400	△ 700	8,890
有料事業	ライソゾーム病	6,120	6,500	△ 380	6,164
	重症複合型免疫不全症	6,120	6,500	△ 380	6,164
	脊髄性筋萎縮症	6,120	6,500	△ 380	4,704

⑤ 人間ドック

生活習慣病の予防及び疾病の早期発見を目的に、協会の施設や機能を生かした検査内容やコースの設定等、受診者にとって利便性の高い人間ドックの充実を図る。

（単位；件）

項 目	6年度 計画数(A)	5年度 実績見込数(B)	増減 A-B	4年度 実施数
人間ドック	1,100	1,035	65	1,038

⑥ ワクチン接種

インフルエンザワクチン接種などを取り入れ既存顧客への付加価値と収益の改善を図る。

（単位；件）

項 目	6年度 計画数(A)	5年度 実績見込数(B)	増減 A-B	4年度 実施数
ワクチン接種	500	-	-	-

（2）精度管理の強化

① 各種委員会の設置、運営

協会が実施する健康診断、各種検査、保健指導等の各種業務について、その精度の維持・向上を目的とし、健（検）診精度管理委員会及び各種専門委員会を定期的に開催する。

各種専門委員会（9部門）

生活習慣病、結核・肺がん、肺がんCT、乳がん、新生児マススクリーニング、消化器がん、子宮がん、超音波検査、小児保健

② がん検診の精度管理

がん検診の精度管理を図るために、検査結果の調査を行い、必要な指標の取りまとめを行う。

(令和4年度 協会実施各がん検診のプロセス指標値) (単位: %)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
要精検率	3.11	1.88	6.48	2.38	4.04
精検受診率	81.9	90.15	63.53	79.84	92.31
がん発見率	0.08	0.06	0.14	0.02	0.55
陽性反応的中度	2.48	3.40	2.19	0.78	13.71

※令和5年2月末日現在の状況

<参考> 各がん検診におけるプロセス指標 許容値 (単位: %)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
要精検率	11.0以下	3.0以下	7.0以下	1.4以下	11.0以下
精検受診率	70.0以上	70.0以上	70.0以上	70.0以上	80.0以上
がん発見率	0.11以上	0.03以上	0.13以上	0.05以上	0.23以上
陽性反応的中度	1.0以上	1.3以上	1.9以上	4.0以上	2.5以上

※厚生労働省: 今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について(報告書)より

+

③ 職員の資質向上

人間ドック学会、日本消化器がん検診学会、日本医師会、県医師会、予防医学事業中央会、結核予防会、日本対がん協会、全国労働衛生団体連合会等の上部組織が行う精度管理事業に積極的に参加する。

また、各種技術研修会等へ積極的に職員を派遣し、関係職員の更なる技術向上に努めるとともに、事業を実施していく上で特に必要の高い「胃がん検診専門技師」、「肺がんCT検診認定技師」及び「検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師」などの認定資格等の取得を目指す。

(3) 健康づくり支援

健康寿命の延伸や健康格差の縮小には、本県の健康事情を把握し、生活習慣病の発症予防の徹底を図ることが重要であるため、循環器疾患、がん、糖尿病の予防を中心として、健康づくりの支援を展開する。

① 健診データ解析情報のフィードバック

協会が実施した健診データを解析し、これらの情報を保健所、市町村、職場、学校等にフィードバックすることにより、それぞれの団体の健康課題を明確にするとともに、各団体における健康づくりを支援していく。

② 保健指導の充実及び研修会、教室等の開催

生活習慣病発症予防を目的とした特定保健指導をはじめとする健診後の指導を展開し、個々の生活習慣の改善に繋げていく。

内 容		令和6年度（計画）	5年度（見込）
特定	動機付け支援	580人	550人
	動機付け支援相当	40人	37人
	積極的支援	580人	473人
一般保健指導		170人	150人
講師派遣による健康講話		3,800人（87回）	3,800人（87回）

※健康講話の内容

実施者：医師・保健師・管理栄養士・健康運動指導士

内 容：「糖尿病予防」について

「小児生活習慣病予防」について

「生活習慣病予防」について

「特定保健指導の実際」について

「簡単にできる運動・肩こり・腰痛予防改善、親子で楽しむ運動」について

「野菜摂取向上など食生活」について

「ストレスコントロール」について

③ 電話勧奨事業

市町村が実施するがん検診の受診率の向上を図るために、効果があるとされている個別の受診勧奨・再勧奨を実施し、がんの早期発見・早期治療に努める。

（4）普及啓発等

県民が主体的に健（検）診を受診し、生活習慣を改善するために積極的に実践できるよう、県民に対し啓発を行う。

① 健康情報の発信

・協会ホームページの活用

健（検）診や健康づくりに関する情報をさらに充実し、幅広い年齢層が健康づくりに活用できる情報の発信を強化する。

・健康情報誌「サンテ宮崎」（年3回 各4,000部）

県民の知りたい事に寄り添った内容を厳選し、分かりやすい表現で作成することで誰もが健康づくりに関心を持てるような機関誌にする。

・メディアにアプローチし、健康情報の発信を促す（健康情報番組協力）

メディアは、ユーザーの信頼感や安心感を得やすく、瞬時に不特定多数に情報伝達ができるなどの特徴があることから、あらゆる年代層や無関心層へ健康や健（検）診の情報発信を依頼する。また、メディア等からの健康情報提供依頼に応じ、健康情報発信の協力を積極的に行う。

- ・他団体の機関誌への投稿
他団体が発刊している機関誌に健康情報や健康経営等に関する執筆を行い、健康への意識の向上を図り、健（検）診受診率向上へと繋げる。

② 講演会や研修会、健康イベント等の開催

- ・ Karada Good Miyazaki フェスタの開催
みやぎの食と農を考える県民会議と宮崎県（健康増進課・環境森林課）と共催し、近年の社会環境の変化やライフスタイルの多様化に伴い、肥満や糖尿病等の生活習慣病が増加傾向にあることを受け、県民の健康寿命延伸のための多方面からの取り組みを周知し、健康講演会や健康測定等を実施することで県民のカラダづくりに寄与する。
- ・ からだグッド健診
休日開催の Karada Good Miyazaki フェスタ当日に健診（特定・後期健診、各種がん検診）を実施することで、主に子育て中の専業主婦や自営業の方に受診の機会のきっかけとして、イベントに行くついでに受診できる機会を作り健診を身近なものに感じていただくことで被扶養者の受診率向上に繋げる。
- ・ 健康づくりセミナーの開催
市町村、職域、学校の健康管理担当者や当協会関係者を対象に、健康づくりに寄与できるような講演会や研修会を開催する。
- ・ 他団体が行う講演会やイベントでの啓発
他団体が開催する講演会やイベントで、健康に関するリーフレットの提供を行ったり、ブース設置等を行い健康づくりの啓発をする。

③ 団体が実施する健康づくりへの支援（市町村・企業や団体）

市町村や団体が行う健康教室や健康まつり等で、協会が所有する健康づくり機器やパネル等を貸出し、啓発ブースの設置や検診車の見学等を行い、健康づくりや健診への理解を深める啓発を支援する。

④ 上部団体（（公財）結核予防会、（公財）日本対がん協会）と連携した広報啓発

- ・ 結核予防会
結核予防週間（9月24日～9月30日）
 - 結核の常識（冊子）や結核予防週間ポスターの配布
 - 世界禁煙デー（5月31日）に伴う禁煙ポスターの配布
 - 結核や胸部の疾患の予防、早期発見・早期治療を訴えるため宮崎県健康増進婦人の会と協力して街頭キャンペーン実施する。

複十字シール運動（8月1日～12月31日）

結核等の予防啓発事業等に活用するための街頭キャンペーンやイベントで募金活動を行う。

（令和5年度 1,558,140円 6年度目標額 1,760,000円）

知事表敬訪問

宮崎県健康増進婦人の会と県健康増進課と共に実施する。

・日本対がん協会

がん征圧月間（9月）

○リーフレット3,000枚（2種類）やポスター2,000枚（2種類）を市町村や各学校、事業所や医療機関に配布する。

○県内2カ所で宮崎県健康増進婦人の会と街頭キャンペーンを開催する。

○県庁に懸垂幕を掲示する。

○各新聞にがん関係の特集記事とともに広告を掲載する。

○ラジオ番組（スクーピ）で、がんやがん検診について啓発する。

○ピンクリボン月間（10月）ラジオ番組（スクーピ）で、乳がんや乳がん検診について啓発する。

○世界対がんデー（2月4日）ラジオ番組（スクーピ）で、がんやがん検診について啓発する。

○デジタルクーポン（日本対がん協会発行）のアナウンスをし、無料検診を実施する。

⑤ がん克服者団体支援事業

・4月9日前後に「子宮の日街頭キャンペーン（ひめやしの会）」を開催する。

（5）県委託事業

① 健康づくりに携わる人材育成

・健康増進計画評価支援事業

計画や事業評価のための評価支援研修会開催や専門職の知見や技術習得のための支援者育成研修会

・健診・保健指導従事者研修事業

特定健診・保健指導に係る技術的支援に関する研修会

・母子保健指導者研修事業

母子保健活動の向上を図ることを目的とした研修会

・健康づくり推進員等育成事業

各市町村において自主的活動を行っている健康づくり推進員等を対象とした研修会

・食生活改善推進員育成事業

食生活改善推進委員に対する研修会

・運動指導者育成事業

運動指導に取り組む指導者育成のための実技を含めた講習会

② 健康づくりにおける情報発信・調査研究

- ・健康情報分析発信事業
県内の健康寿命等の各種健康指標を分析し、県健康づくり推進センターホームページを通じて情報発信する。
- ・地域健康推進研究事業
健康づくりに関する調査・研究の成果及び先駆的な取り組みの研究発表

③ がん検診の受診率向上及び精度管理

- ・がん情報分析・発信事業
県内のがん検診受診率、がんによる死亡者数などがんに関するデータを分析し、ホームページ等を通じて情報発信する。
- ・がん検診受診促進事業（がん検診受診率向上プロジェクト）
官民協働でがん検診の受診率向上に取り組む「がん検診受診率向上プロジェクト」実施するとともに、「ピンクリボン活動みやざき」実行委員会事務局の運営を通して、乳がん検診の啓発を行う。
- ・生活習慣病検診管理指導協議会運営事業（胃・肺・乳・子宮・大腸がん）
生活習慣病の動向を把握し、市町村や検診実施機関の行う検診の精度管理の状況を把握・評価し、専門的な見地から適切な指導を行うことを目的とし協議会を運営する。

④ 「働く女性の健康づくり」に着目した効果検証研究

- ・ライフステージごとに様々な課題を持つ働く女性の健康づくりに着目し、県内企業と連携しながら、職場環境改善などによる身体活動量のアップなど健康増進効果を検証する。

⑤ 糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防調査・分析事業

- ・保険者や医療機関に調査票を送付・回収して糖尿病対策における取組を集計・評価することにより、各団体及び医療圏等の課題を踏まえた取組を推進する。

⑥ 事業所への定期歯科健診推進事業

- ・事業所向け研修会を開催して定期歯科健診を実施するメリットを周知し、定期歯科健診を実施する事業所を増加させるとともに、受診勧奨を実施することにより、県民が定期歯科健診を受診できる機会の増加を図る。

⑦ 宮崎県がん登録事業

- ・県下全域の居住者に発生した全てのがんについて、その発症から治療、死亡に至るまでの経過に関する情報を収集登録する事業で、得られた情報を用いることにより、宮崎県におけるがんの現状を把握、分析し、総合的ながん対策に役立てる。